



コンファレンス・コール議事録

GE-2007年度第1四半期収益コンファレンス・コール

開催日時: 2007年4月13日 午前8時30分（東部標準時）

「業績結果は予備的かつ未監査のものです。本文書には「見通し情報」 - つまり、過去ではなく将来の見通しに関する情報が含まれています。その記載内容では、見通し情報は将来見込まれるビジネスや財務的業績に言及することが多く、「期待される」、「見込まれる」、「予定である」、「計画する」、「信じる」、「目指す」、「であろう」といった表現が使用されます。見通し情報では、その性格上、場合により程度は異なりますが、不確実な事項について述べられています。弊社の場合、良し悪しを問わず将来の結果に影響する可能性のある不確実性には以下のようなものがあります。金利や商品価格の変動を含む金融市場の動向、処理を含む、戦略的アクション、将来における買収事業の統合、航空・鉄道輸送、エネルギー（発生）、メディア、不動産・ヘルスケア事業を含むがこれらに限定されない取引先主要産業の将来の財務的業績、弊社保険事業における予想に反する損失発生、その他、政治・経済・ビジネス・競合・規制関連の全国、地方、および国際的な規模での要因。これらの不確実性により、将来における実績はこの見通し情報で述べられているものとは実質的に異なるものとなる可能性があります。弊社では見通し情報の更新を行う責任は負いません。」

会社側出席者**ダン・ジャンキ**

GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

ジェフ・イメルト

GE - 会長兼CEO

ジョン・ライス

GE - 副会長兼取締役社長、GEインフラストラクチャーCEO

キース・シェリン

GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

マーク・ベガー

GE マネー・アメリカズ - 取締役社長兼CEO

コンファレンス・コール出席者**ニコル・パレント氏**

クレジット・スイス - アナリスト

ボブ・コーネル氏

リーマン・ブラザーズ - アナリスト

ジェフ・スプレグ氏

シティグループ - アナリスト

ディーン・ドレー氏

ゴールドマン・サックス - アナリスト

スティーブ・トゥサ

JPモルガン - アナリスト

スコット・デーヴィス氏

モーガン・スタンリー - アナリスト

デイビッド・ブルースタイン氏

UBS - アナリスト

アン・ドゥイグナン女史

ベア・スターンズ - アナリスト

ピーター・ネスヴォルド氏

ベア・スターンズ - アナリスト

ロバート・マッカーシー氏

バンク・オブ・アメリカ・セキュリティーズ - アナリスト

クリス・コトウィッツ

AG・エドワーズ - アナリスト

プレゼンテーション**オペレーター**

皆様、本日はGEの2007年度第1四半期収益に関するコンファレンス・コールにご出席いただきありがとうございます。この度、ご参加いただく皆様は聞き取りのみ可能となっております。私は、本日のコンファレンス・コールで皆様のコーディネータを務めさせていただきます。キャロルと申します。(オペレータ説明)なお、本会議の内容は録音されます。引き続き、本日の会議主催者であり、インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデントであるダン・ジャンキ氏に進行をお願いします。ジャンキさん、それでは、お願いします。

ダン・ジャンキ - GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

ありがとう、キャロル。皆様、本日は、第1四半期収益コンファレンス・コールによるごそおいでくださいました。本日の朝6:30に、財務情報を記したプレスリリースが発行されましたが、ご覧いただけましたでしょうか。このプレスリリースと本日のプレゼンテーションの補足的情報は、弊社の投資者向けウェブサイトwww.ge.com/investorからご利用いただけます。

本日のプレゼンテーションには、見通しに関する言及が含まれます。これは、本日の状況に基づくものであり、変更される可能性があります。本日は、第1四半期の状況、および第2四半期の予測を対象とします。これに先立ち、弊社の会長兼CEOのジェフ・イメルト、またシニア・バイス・プレジデント兼CFOのキース・シェリンをお迎えしています。さらに、GEインフラストラクチャーの副会長兼CEOのジョン・ライスト、GEマネージャーのアメリカズのシニア・バイス・プレジデント兼CEOのマーク・ベガーをお迎えしています。ではジェフ、よろしくお願いたします。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ダン、ありがとう。おはようございます、みなさん。始める前に、当社について大きく4つの視点からお話したいと思います。最初の点は、インフラストラクチャー事業によってリードされた、GEの幅広い強さです。今日のインフラストラクチャー事業を眺めてみると、高度な可視性、幅広い技術、卓越した世界的地位、在庫と設備に関して増加するマージン、次の10年から15年にかけて有効な長期的サービス契約を、私たちは、長期的な期間において手にしています。私たちはその期間の始まりの段階にいると考えられます。インフラストラクチャーにおいては、9回試合の第1回目にいると思うのです。この四半期において見られることは、今後も繰り返されると考えます。90年代後半において私たちが米国のガスタービンステーションについて考えていたことよりも、ずっと広く、深いものです。

第二点は、この四半期においては、いくつかの減速がありました。WMCの件があり、これについてはマークから話があります。OECのヘルスケアビジネス関連工場のひとつを閉鎖しました。第1四半期における私たちの目標は、これらを乗り越え、本年度の残りを前に進むことです。

これらの減速にもかかわらず、私たちは、一株あたり利益における10%の成長を成し遂げました。セグメント別収益の成長率は13%でした。セグメント別収益の成長率は13%でした。最低でも、100ベースポイントの増加を、総資本利益率において成し遂げました。リストラクチャリングによって相殺された利益があり、税率は期待通りでした。

最後の点としては、2007年度のGEについて考えてみると、私たちは、高い可視性をもって10%から12%の成長を行う安全で信頼性の高い成長企業であるということが出来ます。これは、事業モデルの力強さに基礎を置いているのです。

本日、私たちを取り巻く環境を眺めてみると、お分かりのように、12月のミーティングで目にした年初の状況によく似ています。世界的な成長は継続しています。グローバル市場は、とても力強いものと感じられます。サービスの成長もしっかりしています。資本支出は、ひとけた台の水準で安定しています。住宅は、厳しい状態が続いています。世界的成長について考えると、それは多かれ少なかれ、本年度の最初において私たちの考えていたものと同様になります。

マクロ要因は、さらに力強いものとなっています。新興市場は非常に力強くあります。インフラに対する投資は継続しています。エネルギー価格の上昇は、顧客の再投資を促しています。私たちの環境プログラムは最高のものです。私たちは、好成績の継続を確認しています。

収益環境は、期待したとおりとなっています。原料価格は高くなっていますが、それは既に織り込み済みです。長期的サイクルの事業の多くにおいて、価格を高めるよう努力しています。流動性が高まっています。ライバルとの競争がありますが、これは全て想定範囲内です。

2007年度において、私たちはグローバルに、自らの位置を保っているといえます。私たちの価格への対処は、イン플레이ションの影響を上回っています。生産性と利益率を高めています。環境は、大体において期待されたとおりだと感じています。

各四半期に関して主要なパフォーマンス指標を眺めてみてください。受注についてはより詳しく述べますが、受注高は3%の増加をしました。特に主要設備セグメントにおいて大きく受注高が増加しました。8%の基本的成長を成し遂げ、6%の収益成長と、22%の資産成長がありました。一株あたり利益の10%増加が計画されていました。

期待通り、総資産利益率は100ベースポイント増加しました。セグメント営業利益ベースにおいて、営業利益と産業営業利益率は130ベースポイント増加しました。収益特性は高く保たれています。キャッシュフローは10%成長しました。繰り返しますが、今年のキャッシュフローにつき、良いスタートを切ることができました。

私たちの長期的戦略についてしばしば語られる4点は、リーダーシップをとることのできる事業にいち早く投資をすることです。既に申し上げたように、インフラストラクチャー、商業ファイナンスは力強く、NBCは回復傾向にあります。商業ファイナンスの分野においては、私たちの事業の強化につながると考え、PHHと三洋の取得を行いました。

年初においてお話ししました再展開は、実行されつつあります。ベトコ・グレイ、アボット、スミス、プラスチックの整理についてのプレゼンテーションにおいて、後ほどお話しします。

手堅く実行されました。セグメント別収益は13%増でした。先ほど話したように、力強い営業利益、ROTCとキャッシュフローの拡大があります。繰り返しますが、ヘルスケア、GEマネー、プラスチックにおいて私たちが経験したいくらかの向かい風については、第1四半期でこれらへの対応がなされ、本年度中においてもふんばりが可能だと考えます。GEマネーとヘルスケアにおいては、素晴らしい年になると期待すらしています。

プロセスとしての成長が行われています。基本的な成長率は力強く維持されています。サービス収益は10%増加しています。CSAは、今では940億ドルになっています。発展途上国における成長は14%でした。プロセスとしての成長として私たちが語ったことの全ては、この環境において今まきに行われているのです。

最後に、私たちはGEのチームを誇りに思っています。フォーチュン誌の最も賞賛される企業として再び賞を受け、私たちは自分たちが強いチームを有しているのだと感じることができます。力強いイニシアティブを有しています。経済は私たちが期待したものであり、私たちは、弊社がどの位置にいるのかを良く把握できています。

それでは、インフラストラクチャー事業の重要点について説明するため、ジョン・ライスと代わります。

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GEインフラストラクチャーCEO

ジェフは、マクロ的な文脈からお話ししました。機器の受注について見ると、受注量の増加に貢献し、素晴らしい四半期であったということが出来ます。四半期における注文は、納入分が50%、残受注量が32%の増加であり、直近の5四半期に照らしてみるとお分かりのように、大きな増加です。

事業全体において、力強さが底堅く存在しています。エネルギー事業は、この四半期において、33のガスタービンに対する注文を受け付けました。これらの80%は国際的です。サウジに対する複数のユニットが含まれており、これは去年エジプトからの第4四半期における大規模受注を補完しています。舞台は広いといえます。

航空転用製品は、複数の国からの注文を受けました。航空産業では、ルフトハンザ、エミレーツ、カタール、コリアとの取引がありました。石油&ガス事業では、10億ドルの機器の受注がありました。これは、2006年の第1四半期から12%の増加であり、そのうちの8億ドルが中東とアフリカにおけるものです。世界的な成長が順調に続いているといえます。

興味深いことに、引き合いの数からいうと、米国におけるエネルギー事業においてより多くの活動が開始されています。航空転用製品において、最初にその兆候が現れています、これは、しばしば、今後のさらなる力強さを十分に示すものです。全体として、事業は大変力強く、素晴らしい四半期でした。キースにバトンタッチします。彼が、受注について話してくれます。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

ありがとう、ジョン。受注全体についての導入として素晴らしいものでした。第1四半期における大枠数としては、受注高が3%増加して236億ドルとなりました。大枠数は、成長率の点からいうと、去年よりも低いものです。しかし、これらの数字について、いくつかの点で指摘をしたいと思います。

注文の絶対数は、非常に力強いものです。ジョンがお話した受注数からもお分かりだと思いますが、いくつかの例を述べさせていただきます。第2点は、将来の見通しも非常に力強いものだということです。受注状況は、GEを理解するものとして非常に役に立ちます。詳しく見ていきます。

右は主要設備です。受注は第1四半期で108億ドルとなりました。V-10において、2%の減少がありました。毎四半期において、主要設備の受注は、まとまったものとなっています。去年の第1四半期においては主要設備は110億ドルの受注があり、67%の増加でした。受注の絶対数は、非常に素晴らしいものでした。

航空産業と輸送産業に目をやると、両者は非常に対照的です。GE90に対するボーイングの一度の受注は18億ドルでした。それは2005年度からの追加分であり、再度の受注とはなりません。輸送分野においては、中国で300の機関車の受注があり、年度における輸送分野の見通しは素晴らしいものです。

ジョンは、特にインフラストラクチャーにおける受注の力強さについて話しました。受注は、第4四半期から50億ドル増加し、1年前に比べると30%の増加になっています。これら受注の性質として、受注数に比べて受注額が大きいことを考えますと、主要設備の全四半期にわたる平均額は18%の増加となっています。

主要設備に関して最後の点ですが、第2四半期の受注見通しは、主要設備の成長率は20%となる見通しを持っています。

現在の状況では、サービス受注は81億ドル、11%の増加です。ここでも航空産業を主要素として、力強い二桁の成長を維持しています。部品率は非常に高く、36%の上昇です。

石油とガスにとっては素晴らしい四半期でした。設備機器にとって素晴らしい要素です。これらは設置基盤を構築しており、いたるところで私たちのサービスの機会を成長させています。CSAは非常に良いパフォーマンスを示しています。総合的かつ長期的な、カスタム化されたサービス契約の品揃えは、顧客との関係で現在940億ドル、1年前と比べて9%の上昇です。

エネルギーは四半期において4%減少しました。第1四半期に、去年受注した大型の核燃料の取替受注が再度行われなかったためです。サービスが二桁の伸びを示したことは、私たちにとって喜ばしいことです。

右側では、フロー事業の一日の平均受注率が示されており、2%の増加でした。C&Iでは、大変多くの受注がありました。配電と、工業用は二桁の成長です。この四半期では、電気設備の成長は見られませんでした。

プラスチックは5%の減少です。整理に関する報告をしたのみならず、いくつかのリストラチャリングも行いました。おそらく、その影響が若干、現れていると考えます。しかし、この四半期において、価格と数量がプラスチックにおいて私たちにプレッシャーを与えました。

セキュリティについては、住宅において若干の弱みがありました。しかし、主要設備とサービスとの比較において、フローによるパーセンテージは減少を続けています。アドヴァンスト・マテリアルズとGEサプライ、そしてプラスチックの整理などを伴っています。

全体として、激しい競争にもかかわらず、受注は3%増加しました。受注の絶対数は非常に力強い状態です。未来は明るいといえます。第2四半期の予測は、主要設備の継続的な成長とともに考えてみると、第2四半期において全体として15%以上の受注が期待されます。見通しは非常に明るいと考えております。

次は、ファイナンシャルサービス事業についての利益と不履行率についてです。右は利益です。毎四半期についてお見せします。青いバーは純利益であり、これは基本的に、金利を除く私たちの利益です。これは、平均資産の率としてもたらされた金額ということになります。緑のバーは、損失をもってこれを調整しています。

マージンがこの1年で14ペーシスポイント減少したことが分かります。市場においては継続して非常に高い流動性が存在しており、利益をいくらか圧縮しています。継続的な資産の増加によって、それを解消しようとしており、ただ解消する以上のことができています。ファイナンシャルサービスを継続するための構造は、とても力強いものとなっています。この事業における資産の増加をお見せします。

私たちは、高い生産性を持っています。リストラチャリングと、単純化へ焦点を合わせることによって、継続的な生産性の促進が可能です。

右側では、30日以上不履行状況を確認していただけます。青いバーは、GEマネーです。第1四半期では、GEマネーにおける30日以上不履行は5.48%であり、この1年で増加しました。WMC事業における不履行によって、これは十分すぎるほど説明されています。マークが、米国の担保事業についてお話しします。WMCを除き、不履行率は1年で減少しました。

チャートには表示されていませんが、マークのWMCを除く米国事業においては、不履行率は4.72%であり、去年の4.69%と比較して基本的に変化がありません。世界的な不履行率の観点からは、ポートフォリオのクレジットの質に変化はありません。

商業ファイナンス部門の設備ファイナンスについては、不履行率は歴史的なほどに低率を維持しています。1.26%であり、ポートフォリオの質の高いことを良く表しています。

次はインダストリアル利益についてです。四半期におけるパフォーマンスは優れたものでした。左にあるのは、歴史的な利益についての報告です。全てを包含したインダストリアルの総利益は、11.5%から11.3%になりました。しかし、ご存じのように、四半期にはSwiss

Reの株式売却によって得られた利益がありました。私たちは、リストラクチャリングその他の事項のために、得られた利益を用いました。利益に関する問題としては、Swiss

Reの株式から得られた利益は、ファイナンシャルサービス事業において報告され、負担はインダストリアル事業が負っていることです。調整されたこの12.9%のバーが、リストラクチャリングとその他の事項の影響を利益率から引き出したものです。

次のページでは、私たちのリストラクチャリング活動について説明しますが、これを除外すると、利益合計40ベースポイント増加しました。

右側では、利益について率直に示しています。報告されたセグメント業績を帳消しにしていると考えべきです。利益は、130ベースポイントの増加をしました。企業事項からの影響はありません。

一番下では、利益パフォーマンスについての全事項が提供されています。事業ごとに、去年の利益率、今年の利益率、要因のいくつか報告されています。インフラストラクチャーは素晴らしい四半期であったことが見て取れます。利益は15.2%から16%に増加し、1ポイントの8/10増加しました。価格と生産性について、素晴らしい四半期でした。利益は、80ベースポイント増加しました。設備の納入の成長率が、サービス納入の成長率の2倍であるという状況が継続している事実にも関わらずです。利益は、サービスよりも設備のほうが明らかに低率であり、利益を減少させています。以上にもかかわらず、価格と生産性、および事業における大きなパフォーマンスにより、私たちは80ベースポイントの増加を達成することができました。これは大変なことです。またこれは明らかに、素晴らしい未来を示すものです。なぜなら、設置基盤の構築にあたるため、これを通してサービスの成長が見込めるからです。

インダストリアルは減少しました。プラスティックスによって全て説明されます。いくらかのページにおいて、説明がなされます。

ヘルスケアは生産性が良く、利益率の上昇の要因となりました。

NBCUも、期待できると思われれます。去年の第1四半期、トリノ冬期オリンピックが開催され、大きな利益率を伴わない巨大な売り上げがありました。期待を抱かせる修正となります。企業に対する影響を合算から見て取ることができます。

生産性と単純化に焦点を合わせています。1年合計としては、100ベースポイントの増加へと歩みを進めています。リストラクチャリングにも資金を供給しており、未来の利益率の成長にとって良いものとなります。四半期における利益のパフォーマンスは良いと感じています。

次はリストラクチャリングです。私たちの行ったリストラクチャリングについて、より詳しくご説明します。今年は大きな利益を得ることになるだろうからです。利益はリストラクチャリングとその他の事項に資金投入されるため、補正されます。詳しくご説明します。

Swiss

Reにおいて、5億5800万ドルの税引前利益を取得しました。第1四半期における、アスベスト超過損害保険事件の影響は、利益からの資金供給に対して阻害要因となっています。

3億5400万ドルのリストラクチャリングと、その他の費用があり、このページではそれらについて説明しています。左側では、それぞれの事業に関連した額を見ることができます。これは、企業項目と統廃合において報告されております。事業としてはありません。しかし、これらの利益は将来に関係しているという意味で、事業です。

右側では、様々なカテゴリーを見ることができます。これらのいくつかについてお話しするつもりでした。人員の削減。最初のものは、工業用発熱体です、リストラクチャリングに取り組み、発熱体に関してはアメリカの人員を削減し、低コストな国へと移動しています。第1四半期には、約1200万ドルのリストラクチャリングを行い、約600人の人員に影響がありました。

GEマネー、日本における経営合理化についての議論もご存じだと思います。そして、マークの事業、WMC、アメリカにおける経営合理化が行われました。四半期において約4400万ドルの影響があり、約875人の人員に影響がありました。

コスト構造の減少における改善、管理部門の工業的な合理化。単純化の努力として、弊社の全体にわたり、管理部門の合理化が何度も行われました。四半期において、1600万ドル、260人の人員です。

コスト構造を削減するための、NBCU、ネットワーク2.0、コスト・アウト活動についてご存じのことと思います。第4四半期に、いくつかの活動を行いました。第1四半期において、事業を存続させるため、さらに実行しました。私たちは、水力発電事業から脱退するための協定を結んでいます。これは、約4000万ドルのコストがかかると思われる、協定が完了すると、1500人に影響が出ることとなります。第2四半期を見込んでいます。

その他の事項です。ベトコ・グレイの取得に伴う購買会計を処理しました。リストラクチャリングを加速させました。四半期だけでも、資金の供与を受けた事項の影響は平均して約2年後に現れます。約3900人の人員の削減は、進行中、または完了しています。合計3億5000万の投資を行い、私たちがリストラクチャリングを行っていく毎四半期においてこれを報告していきます。詳細を説明し、どの段階にあり、期待される利益は何かについて報告します。

次は、第1四半期の連結業績です。左は、継続する経営の概要です。402億ドルの収益が報告され、6%の増加です。報告された収益に対して実際に影響を与えている、GEサプライとアドヴァンスト・マテリアルズの売却、オリンピックの影響に基づく修正をすれば、収益は11%の増加でした。最大の影響は、明らかにインダストリアル販売におけるものであり、[229]、これらの事項については7%の増加修正です。

収益は8%増で、45億ドルでした。一株あたり利益は0.44ドルであり、継続的営業ベースで10%の増加です。これらの成長率についてのポイントのひとつとしては、2006年度の第1四半期には1億2300万ドルの純益があったことです。そのため、昨年度において好ましい影響があったのであり、今年においても繰り返される訳ではありません。これは、数値を3ポイント減少させています。これが無ければ、収益は11%上昇し、EPSは13%増加していました。

キャッシュフローは良いスタートを切りました。次のページで説明します。

税金です。税金について、より詳しいガイダンスを求めておられると思います。インダストリアルとファイナンシャルサービスと連結事業について、第1四半期の率をここで確認することができます。基本的に、ご存じの通り、税率については新しい会計ガイダンスがあります。FIN48と呼ばれるもので、不明な税の位置づけに関する会計です。過去においては、日付までの四半期における率が、1年全体における率について最も正確な推定を反映したものであるということができました。FIN48においては、それが変わりました。FIN48では、従前の期間における修正を、予定された1年全体の率に適用させることはできません。

例えば、従前の時期においてIRSと税金について合意したとすると、合意が行われた時期においてのみ、これを適用させなければなりません。四半期の税率は、さらに変動するものとなります。一例として、第2四半期または第3四半期を考えます。第1四半期において、インダストリアルの率は28%でした。IRSと、合意があったとしましょう。2000年から2002年の監査期間、2003年から2005年の監査期間において、私たちはIRSと活発に活動してきました。彼らと合意したとすると、インダストリアルにおいて税率を得ることができ、従前期間の項目の影響が何であったかによって20%以下に変動することもできました。

それでも、最も重要なポイントは、ガイダンスが、私たちの連結による率は、去年とほぼ同じ16から17%になると予想されていることです。

右が、事業の実績になります。インフラストラクチャーにとっては、非常に好ましい四半期でした。商業ファイナンスも、力強い四半期であり、ガイダンスを上回っています。インダストリアルは、ガイダンス以下であり、プラスティックスの影響を受けました。GEマネーは、WMCの事業の影響を受けました、これについてはマークが説明します。ヘルスケアは、良い四半期となりましたが、OECと赤字削減法に基づく償還削減による影響を受けました。これについては説明します。NBCはガイダンスを上回りました。

全体として、ジェフの言ったように、入り交じった事業成績となりました。しかし、弱さを補って余りある力強さがあります。GEのポートフォリオの力を示しています。

次はキャッシュです。1年の最初として、良いスタートを切りました。左側では、営業活動から74億ドルのキャッシュフローを達成しました。これは10%の上昇です。GECSの配当は、40%の普通配当による純収入の成長と、第1四半期に完了したSwiss ReとGE Lifeの株式売却益との両方により、増加しました。

インダストリアル率のキャッシュフローは、35億ドルの増加となり、6%の増加です。これは四半期に対する期待通りとなりました。

右は、キャッシュバランスです。本年の開始時点では、やや多めの現金を維持しておりました。これは基本的にベトコのための先行資金で、45億ドルです。左のキャッシュフローを計算に入れます。配当を支払いました。株式のいくらかを買い戻しました。工場、設備を購入しました。四半期においては、ベトコの取得が終了しました。いくつかの少量の取得、処分がありました。

債務において変更がありました。債務が増加しました。ご承知の通り、スミスとアボットの取得のために、十分な資金が必要です。四半期は、90億ドルの現金を維持して終了しました。両取引の完了のために、全部で130億ドルの資金が必要です。

手堅いスタートを切りました。本年度、CFOAの240億ドルに対する計画を持っています。意義のある取得に向けて、資金を準備しています。

特定の事業についてお話しする前に、第2四半期についての見通しについて説明します。全体として、第1四半期とよく似たプロファイルとなっています。インフラストラクチャーにおいて、継続的な成長があり、20%の上昇です。商業ファイナンスにおいて、継続的な成長があります。インダストリアルでは、第1四半期と同様なプロファイルであり、若干改善されるはずですが。後ほど説明します。GEマネーは二桁の成長です。ヘルスケアは5%から10%の成長です。NBCユニバーサルは、黒字化を継続します。

右側では、弊社全体の予測を示しています。430億ドルの収益であり、7%の増加です。利益と、一株あたり利益の範囲は、年度ガイダンスと一致しています。EPSは、2.18ドルから2.23ドルまでの年度予想を再確認しました。

それでは、事業についてお話ししたいと思います。まずインフラストラクチャーからです。ジョンと彼のチームは、素晴らしい四半期を経験しました。収益は119億ドル、120億ドルで、18%の成長です。セグメント収益は28%の上昇です。以前のパーティカルです。金融サービスの影響を除くと、営業利益はインダストリアルセグメントで24%増加しました。素晴らしいパフォーマンスです。

左下の主要事業の業績を見てみると、事業のほとんどが非常に素晴らしいパフォーマンスを示していることが分かります。既にお話した受注は、35%増加しました。サービスは12%増加です。設備は若干の減少をしましたが、これはタイミングの問題であり、第2四半期における注文の見込みは期待できるものです。

航空とエネルギーについてコメントをしたいと考えます。このセグメントがどれだけ力強いものかを感じていただきたいと思います。航空産業について、受注からお話しします。商業エンジンの受注は、33億ドルであり、7%の減少です。しかし、これは300%増加した去年の第1四半期と比較してのことです。受注の絶対数は驚異的です。GE90の注文は11億ドルです。カタールとコリアです。GENxの注文は12億ドルです。ルフトハンザ、クァンタス、アトランティス、エミレーツです。787において、66%の受注率です。新規の747では、私たちが独占しています。

受注高は成長しています。128億ドルです。1年で48%増加しました。非常に素晴らしいものです。

収益は16%増加しています。509の商業エンジンを納入し、20%の増加です。去年と比較して、今年第1四半期においては、商業エンジンを85台多く納入しました。設置基盤の構築です。サービス収益は22%増加しています。コマースは31%増しです。力強いCSAパフォーマンスです。これは、17%の営業利益の増加をもたらしました。数量、価格、生産性が満足いくものであり、部分的にインフレーションによって相殺されました。この事業は、大変良い状況にあります。第2四半期の予測は期待できるものです。

エネルギー事業にとっても、素晴らしい四半期となりました。収益は15%増加、セグメント利益は41%増加です。注文は四半期において6%の増加、再び似たような状況です。設備の受注は17%増加です。設備の受注価格は3.5%増加しました。サーマル事業は37%増加です。エアロ事業は205%の増加であり、ジョンが言ったように、優れた活動を行っていることとなります。

風力事業は四半期において14%減少しました。しかし、この事業は2008年にかけて受注が終わっており、受注は、年度比較かつ価格の上昇を考慮して[4%]の増加です。

四半期における事業の収益は15%上昇しました。サーマルのパフォーマンスが優れたものであったことが要因です。それは37%の上昇をしました。去年と比較して、28のガスタービンを出荷しました。風力は12%増しです。サービスは力強い状況です。営業利益は41%上昇です。サーマルにおけるパフォーマンスの良さを要因としています。これは70%上昇です。

風力事業は、四半期において利益が約6000万ドル増加しました。Baglan Bayが問題となることはありませんでした。去年、Baglan Bayに関して、約4000万ドルの問題があったことはご記憶の通りだと思います。この数値が以前の高いレベルで上昇することの助けとなりました。第2四半期と、今年の残りにおいては、エネルギー事業はとて力強いものであるという予測ができます。

インフラストラクチャーも、十分に期待できます。第2四半期の予測としては、収益が15%の上昇、セグメントポートフォリオは20%成長を続けます。

次はGEマネーです。手堅い四半期を経験しました。左には、5.8の収益が14%増加であると示してあります。資産の成長によって成し遂げられました。1900億ドルで、20%の上昇です。セグメントポートフォリオは8500万ドルであり、わずか2%上昇です。

資産の成長からお話しします。これは、とても良いものであり、将来におけるパフォーマンスの継続に対する格好の指標となります。組織的資産は11%の成長です。世界的に力強いものでした。欧州事業は13%の増加であり、南北アメリカは13%、アジアは5%の上昇でした。

グローバルな収益は2%増加です。幅広いベースでの成長がありました。ただし、日本のWMCを除きます。欧州では、大変に素晴らしい四半期であり、35%増加しました。以前のWMCである南北アメリカは、二桁の力強い伸びです。これは証券化により部分的に相殺されましたが、この点については後ほどお話しします。日本は期待通りでした。アジアにおける足かせとなっています。

南北アメリカでは、チームが約束した活動のひとつであり、WMCの影響を部分的に相殺したのは、証券化の増加でした。約1億9700万ドルの収益増加をもたらしました。

不履行率についてお話しします。ポートフォリオは非常に健全です。マークが今日ここにいるのは助かりました。彼は、GEマネー・アメリカズの代表取締役兼CEOです。右側に示されるWMCについて、いくらかの最新情報を聞かせてもらうことができます。では、マークをお願いします。

マーク・ベガー - GE マネー-アメリカズ- 取締役社長兼CEO

ありがとう、キース。キースの言ったように、WMCにとっては困難な四半期でした。記憶にあるかと思いますが、三年前に比べると、事業の取得は少なくなっています。米国における巨大なモーゲージ事業を好ましいものと考え、取得を行いました。2兆ドルを超えます。米国外では、モーゲージ事業は力強いものです。それは、私たちの消費者に焦点を合わせたファイナンスモデルに合致しており、ブローカーを通じた創出です。独特なモデルであり、モーゲージを創出し、ウォールストリートで販売します。

私たちは、Alt-

Aとサブプライム・モーゲージを発行しており、これは何年にもわたり効果を上げてきました。しかし、第4四半期において、基本的に資本市場がシャットダウンしました。資本市場は、これらのモーゲージを購入するのを躊躇するようになりました。これは、住宅価格増加の減少と、不履行率の増加によります。

私たちの引き受けモデルは、ウォールストリートの要求に合致したモーゲージを創出するためのものでした。これは、私たちが事業を購入する前に行われ、事業を所有している時期のために創出される種類のローンでした。

数字のいくつかをご覧下さい。第4四半期においては480億ドルの資産がありましたが、第1四半期においては450億ドルに減少しています。第1四半期中、創出を劇的に削減し、これは第4四半期から開始されました。第4四半期中、モーゲージの創出は90億ドルを少し超える程度でした。第1四半期においては、約34億ドルでした。四半期を見ますと、三月はわずか5億ドルです。ガイドラインの多くをどのように引き締め、事業活動の多くをどのように削減したかについてお話しします。

右側の数字を見てください。キースは第1四半期において私たちが3億7300万ドルの損失を出したことに触れました。そのうち4300万ドルは、事業のコスト構造です。収益のない、私たちの持つリソースです。後ほどお話ししますが、この数字を引き下げるために行動をとっています。

準備金からの3億3000万ドルが、バランスシートにおいて示す必要のある最も大きな要素です。税引き後を基本にしています。税引き前ベースでは、準備金は5億ドルの増加をしました。これらはローンのための準備金です。45億ドルを有しており、過去に販売したローンに対する、投資家からの将来における再購入の可能性に備えたものです。

四半期において課題となったのは、市場がないため、会計の慣例によれば、市場価格を算出し、時価評価をしなければならないということです。市場がないため、流動性指標として性格づけられている市場価格を算出する必要がありました。その価格では、私

私たちは売却することはありませんが、会計上の必要に基づいて用いざるを得ないものです。今後は、3億3000ドルまたは税引き前5億ドルとして進める状況がこのまま引き続くと考えております。

事業に対しては努力を重ねています。新しい指導的チームを結成しました。11月から、指導的チームを変更しました。私もよく知っている新しいCEOは、黒字転換のエキスパートであり、豊富な消費者ファイナンスの経験があります。新しいCFOは、監査スタッフ出身で、個人的に私の近くで仕事をしてきた人物です。新しいリスクリーダーは、イギリスとメキシコでモーゲージ事業に取り組んできた人物です。新しいチームはととても素晴らしい面々です。

新規発行を改革の対象としました。ウォール街のガイドラインに即した発行はしていません。私たちのガイドラインに沿って発行をしております。85以上のLTVはありません。規定の収益もありません。大きな引き締めを行いました。

価格も上昇させました。前にも言ったとおり、バランスシートにおいてリスクをカバーしています。準備金を7億ドル、バランスシートに保持し、私たちが前に進むことに対する備えとしています。

組織の合理化にも取り組んでいます。キースが、私たちのリストラクチャリングについてお話ししました。組織の1000の人員、40%を、年度末から削減しました。第2四半期では、追加的なアクションを取りたいと思います。より焦点を絞ったビジネスモデルによって前進します。

どのように前進したらよいかを考えると、第1四半期における準備金の問題の周囲にはフェンスができていのように感じることは確かです。私たちは、巨大市場、巨大事業への努力を続けていきます。競争者は少なくなっております。私たちが前進するためには良いことです。既にお読みのことと思います。

キースが述べたように、GEマネーの世界的な力強さによって、WMCの困難の大部分をカバーすることができました。これは、私の事業においても、南北アメリカにおいても同様です。南北アメリカにおいては、カード事業、セールスファイナンス事業が力強く、第1四半期には二桁の伸びを示しました。欧州も、特に力強い伸びを示しました。

第2四半期を予想すると、5000万ドルの下落になるのではないかと考えています。私の事業、GEマネー・アメリカズの内部において対応できるものであると考えています。第2四半期では、15%程の上昇を計画しております。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

ありがとう、マーク。それでは、次はインダストリアルに移ります。インダストリアルは、第4四半期とよく似た四半期でした。この四半期においては、3つのポイントがあります。

最初に、セグメント業績が、GEサプライとアドヴァンスト・マテリアルズの処分の影響を受けました。収益を見ると分かるように、報告された収益は9の減少です。整理された事業は、かなりの数になります。それを除けば、5の上昇です。

セグメント収益では、四半期は20減少しました。整理の影響は未だ損失としてあり、11の減少です。

第2は、C&Iと設備サービスが非常に素晴らしい結果をもたらしたことです。左下を見ると、セグメント業績を見ることができます。GEサプライの処分を除くC&Iは、組織的に収益が5%増加しました。設備の小売は、複雑な結果です。小売設備は、収益が5%上昇し、契約チャンネルは、ジェフが話したように、6%減少です。これは、明らかに住宅供給によって影響を受けました。

照明は、10%の上昇となり、力強さが伺えました。事業は、価格と生産性を高め続けています。そのおかげで、高い収益の上昇を得ることができました。

第3は、プラスチックです。第4四半期と同様に、プラスチックは手強い四半期となりました。価格と数量が、収益の減少要因となりました。自動車において、圧力を受けており、ビジネス設備においてもいくらかの圧力を感じています。

取り組みが続けられているのは、もう既に何度もお聞きのことと思いますが、ベンゼンです。インフレーションが継続し、四半期で32%の増加です。第1四半期の平均は、1ガロンあたり約3.50ドルでした。プラスチックにおける営業利益は、約1億2000万ドル減少し、インフレーションと価格が要因です。部分的に、チームによってもたらされた生産性の向上によって相殺されています。

このセグメントの第2四半期について予測すると、プラスティックスの価格と数量、インフレーションが困難なものであり続けます。しかし、今後の見通しはやや明るいものと考えられます。若干、改善されると考えます。4月のベンゼンは高い状況でした。しかし、受注は第1四半期に行われました。受注は、四半期の始めよりも、終わりに多くなりました。先にも述べたように、それに影響を与えたかもしれない混乱がありました。

第2四半期においても、整理の影響があります。セグメント収益はおそらく10%から15%の減少となり、現時点で考えられるとおりに思われます。

次はNBCUです。NBCにおいては、収益の成長が引き続いており、第2四半期を喜びを持って報告します。左下には、35億ドルの収益が示されています。22%の減少です。2つの問題があると考えます。第1に、去年、オリンピックがあり、約7億ドルの収益となりました。オリンピックについて修正をしたとしても、ここにおいて示されるように、収益は8%の減少となったはずで

フィルム事業のタイミングによって、十分すぎるほどに説明されます。フィルムは、四半期において26%の減少です。要因はひとつです。キングコングのDVDによる収益が去年の第1四半期にはありました。去年は、1500万ユニットのキングコングDVDを販売しました。今年は、事業の全体にわたり、第4四半期における記録を考慮に入れると、その半分のDVDしか販売していません。フィルムのタイミングを除けば、継続的な事業ベースでは、若干ポジティブな収益となりました。

セグメント収益が6%上昇し、これは経営再建に関する話題です。ネットワーク、ステーションおよびテレビの制作は1%上昇です。大変に喜ばしいことです。ニュース、エンターテインメント、情報ケーブルは大変手堅いものでした。非常に良いパフォーマンスが示されています。これは8%増しです。フィルムと遊園地、その他は2%上昇です。そのため、全体として、上記のファイナンスの側面からすると、期待したとおりであり、1年を通じて予想していたものと合致します。

最後に、いくつかの点についてお話しします。お話しする4つの主要エリアは、私たちが監視し、経営再建チームと共に取り組む仕事に関わるものです。

ネットワークでは、本日に至るシーズンのプライムレーティングは変化が少ない状況です。現状よりももう少し良ければと思いますが、良い兆候も現れています。明らかに、「ヒーローズ」は、シーズンのナンバーワンヒットであり、ショーとしては第7位です。

リストラクチャリングについては、チームは大変良い仕事をしました。コスト活動により、より効率的なコスト構造を得ることができました。大変に素晴らしい事業モデルが進行中です。既存のスケジュールにおいて、多くのコンテンツを所有しており、秋のパイロット番組を検討中です。さらに多くのコンテンツに対して所有権を取得し、これは私たちに複数の収益機会を与えています。「トゥデイ」と「ナイトリィ」はどちらもナンバーワンであり、ネットワークは、期待したレーティングの上昇はなかったものの、前進を見込んで、手堅い改善を示しています。

エンターテインメントと情報ケーブルは、非常に良いパフォーマンスを示しています。USAは、基本ケーブルではナンバーワンです。すぐ下に位置するライバルとは、27%も差があります。5つのトップショーのうちのひとつです。プラボーも実に良くやっています。CNBCは非常に良い状況です。

フィルム事業は、DVDでは苦戦していると言いましたが、今後の劇場公開については非常に期待しております。年度の前期の見通しと、後期と来期に対しても、非常に期待を持っています。第2四半期には、いくつかのフィルムを準備しています。「Evan Almighty」と、「Knocked Up」です。第1四半期におけるリリースに基づき、去年との比較においても、非常に良いDVDの見通しを持ってあります。

最後に、デジタル事業です。デジタルにおいても、継続的な進歩が見られました。デジタルの能力を拡大するためのNews Corp.との事業についての報告を目にした方もいらっしゃると思います。第3四半期において、事業を開始することが期待されています。これに関しては、様々な活動を行っていくことになっています。モバイル向けのデジタルを含み、その他のデジタル・プラットフォームに対する発信も継続しています。

右上は、第2四半期の見通しです。収益は、オリンピックがないこと、キングコング以来は大きなDVDにおける変動要因が存在していないことから、より標準的です。セグメント収益はゼロから5、進歩が感じられます。経営再建は進行中であり、チームは仕事を大変良く遂行しています。

次はヘルスケアです。ヘルスケアは、変化のない収益と、5%の営業利益をもたらしました。私たちの製品ラインにおいて、多くの良い成長がありました。収益の観点から見ると、医療診断事業は10%上昇です。ライフサイエンスは9%の増加です。国際的診断イメージングは7%の増加です。診断イメージングサービスは7%の増加です。

第4四半期における別のミーティングで既にお話ししたと思いますが、ジェフが述べたとおり、私たちの外科事業であるOECにおいて同意判決を得ました。収益に影響を与えており、四半期において1億ドルです。

影響のある第2の事項は、赤字削減法です。米国における非病院のために、償還を和らげるものです。1月1日に発効し、1億5000ドルの収益に対する影響が出ました。

予想を上回るものであり、タイミングがシビアなものでした。第1四半期に非病院の事業を展開したからです。これらの事項は、営業利益に基本的な影響を与えました。営業利益は5%の増加です。事業において、生産性が高まりました。コストに焦点を合わせて、チームは良い仕事をしています。しかし、DRAとOECは、およそ10ポイントの影響をセグメント収益に受けました。これらの2つの要因がなければ、15の上昇であったと考えます。

最後に、受注は3%の増加です。繰り返しになりますが、OECとDRAは、7ポイントの影響を受けました。別の言い方言えば、他の全てのDIと医療診断とサービス、事業の全ては、受注において、四半期において10%の増加でした。

右に示してあるのは、別の見方です。グローバルなヘルスケア事業においては、DRAによる影響を受けたOECとDIクリニックは、収益のおよそ10%でした。出荷していないOECのおよそ10%の減少です。DIクリニックは、四半期において60%減少し、期待されたものに比べて2倍の影響でした。

事業のバランスを見ると、90%が5から10の上昇です。収益の成長を保っています。

前進するための原動力は何でしょうか？基本的に、OECチームは、顧客との関係で素晴らしい仕事をしました。1年の受注を取得し、これを維持しました。下半期において回復します。DRAの損失が改善していると考えられます。償還が変更になったときに、このサイクルを経験しました。今年下半期を進めていくにあたり、それが与える影響については良い印象を持っています。

ヘルスケアの全体としての人口統計は、継続的に素晴らしいものとなっています。人口統計、高齢化人口、生活の質の向上、より多くのことを成し遂げる技術、過程としての成長が、ポジティブであり続けています。世界的に、高い成長を遂げています。サービスは力強く、ヘルスケアでは良い1年になると思われます。

これは一つの例です。多様なポートフォリオは、個別の問題を管理する機会を与えてくれます。

最後に説明するのは、商業ファイナンス事業です。実に素晴らしい四半期でした。62億ドルの収益であり、15%の上昇です。セグメント別利益は21%増で、14億ドルでした。

資産成長は非常に大きなものでした。資産は26%増加です。この12ヶ月は、融資の開始にとっては素晴らしいものでした。様々な事業における、右上の数値をご覧ください。融資の開始は継続的に良好です。

収益は15%増加しています。力強い資産増加に支えられています。セグメント収益は21%増加です。各項目を見ていきます。

不動産は、再び良い四半期でした。純益は28%増加です。非常に良好な資産増加がありました。資産は590億ドル上昇し、58%増加しました。世界的に、良好な資産増加、融資の開始がありました。販売パフォーマンスは改善しました。

不動産のポートフォリオの質は素晴らしいものです。590億ドルの資産により、390億ドルのノンアーニングを得ました。非常に高品質で、パフォーマンスの高いポートフォリオです。

Cap

Solutionsも、力強い四半期を経験しました。彼らの純益は3億8000万ドルであり、12%の増加です。資産の成長が成し遂げられました。資産は、1000億ドル以上、1030億ドルで、16%の増加です。

その他の商業ファイナンスに目をやると、コーポレートファイナンスにおいても良好な四半期を経験しました。SESからの利益を含み、収益は21%増加しました。ポートフォリオの増加は素晴らしく、資産の質も非常に高いものです。不履行率は歴史的な低さです。第2四半期の見通しは、力強いパフォーマンスを見込んでいます。セグメント収益は10%から15%の増加です。

以上の事業内容です。ジェフ、お願いします

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

キース、ありがとう。事業の発展、活動をざっと眺めてみましたが、四半期の最後において行われたコールを思い出してください。そこでは、取引に関する報告事項がたくさんありました。その後の経過をお知らせしたいと思います。

まず、ベトコ・グレイは、ジョンが言ったとおり、完了しました。私たちが当初予想していたよりも良い結果でしたので、その点については好ましく思っています。

スミスについては、米国の法規上の承認を得ました。EUにおいて、建設的に行動しています。第2四半期の完了を目標にしています。数ヶ月間において、努力をする機会に恵まれ、手堅い感触を得ています。将来的に、この事業の見通しがよいことを好ましく思っています。

アボットについては、米国の法規上の承認を得ました。EUにおける手続は、進行中です。これは、複雑な資産取引です。アボットとは熱心さと法規上の問題とを考慮して密接に活動しています。この取引を完了する予定です。当初の予定よりも長引くと思っていました。しかし、この事業を好ましく思っており、ヘルスケアのポートフォリオにとっても良いものと考えます。

プラスチックの取引は進行中です。大きな進歩があり、事業に対する多くの興味を示しています。最初の申込みは間もなくです。確定的な合意を第2四半期中に報告することを目標としており、第3四半期に完了させる予定です。プロセスについては楽観的な見方をしています。この処分を行うに当たっての、プラスチック事業の見通しについても同様です。

取引は、多かれ少なかれ、全て進行中です。それら全ての戦略を好ましく感じ、位置づけについても素晴らしいと感じています。

まとめますと、逆風にもかかわらず、手堅い第1四半期であり、良い結果がもたらされたと考えます。インフラストラクチャー設備とサービスの受注が私の話をまとめています。私たちは、非常に見通しの明確な、長期的な成長とマージンと利益の拡大の、スタート地点にいるということが出来ます。

ファイナンス市場は良好です。商業と消費者ファイナンスともに、期待できます。ヘルスケアは、1年を通して強化されると考えます。

営業利益とROTCにおいて、100ベースポイント増加させるという営業目標は、見通しが立てられ、進行中です。取引は良好で、進められています。1年を通じたEPS全体の成長は、10%から12%を再確認しています。2.18ドルから2.23の増加です。ダン、それでは再びお願いします。質問を受け付けることにしましょう。

ダン・ジャンキ - GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

今から質問を受け付けたいと思います。では、キャロルをお願いします。ありがとうございました。

質疑応答

オペレーター

(オペレータの説明) クレジット・スイスのニコル・パレント氏です。

ニコル・パレント氏 - クレジット・スイス - アナリスト

おはようございます。ヘルスケアについて最初の質問です。収益が弱まっており、ガイダンスにおいては赤字削減法を織り込み済みとしてあります。なぜ、弱まっているのか、その理由をもう少し聞かせていただけませんか？

1年を通した事業の見通しについて、OECの前期における問題と、クリニックスへの影響を考慮したとき、1年の見通しがなぜ変化するのですか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

それについては、ニコル、営業利益の点から考えると、私たちはおよそ5000万ドルを逃していると考えられます。OECの修正コストは、その約半分だと思います。もう半分は、赤字削減法で、これは私たちの予想よりも悪かったです。

収益については、クリニック事業に含まれます。キースの言ったように、60%の減少でした。その半分を予想していました。

以前も二度ありました。90年代初頭、90年代後半です。償還についての影響を受けました。典型的には、戻りは6ヶ月です。

プロシージャの成長は、診断医薬品事業を見たとき、10%の増加であり、プロシージャの成長は手堅いものと言えます。これが、最終的にこの市場を動かす要因です。

年度について考えますと、アボットを引き合いに出しますが、ジョーとチームにより、一桁の中間値の収益成長、営業利益は15%の増加をしてけるとまだ期待しています。

OECではまだキャンセルが発生していません。基本的には、事業が再開すれば、1年に相当する出荷を行います。2007年にどのくらい残っていても変わりません。事業モデルは力強いものであり、DRAは、予想されたよりも多少悪かったです。しかし、1年を通した事業は良好になると考えます。

ニコル・バレント氏 - クレジット・スイス - アナリスト

組織的には、FDAのレーダースクリーンに一度乗っかると、降りることは難しいものです。ヘルスケアにおけるタイミングとその他のリスクに直面する事業について、どのように考えれば良いのですか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ニコル、お分かりかと思いますが、FDAは、同意判決などが得られてからコントロールを行います。これらについては、私たちはやり方を心得ていると思います。この努力を指揮している人物は、航空機エンジン事業からの出身で、FAAに用いられています。FDAに関して、競争力あるアドバンテージを構築するための機会として利用しています。

その日の終わり、厳しいFDAというのも悪くないと感じました。競争力あるアドバンテージであり、参加への障壁です。GEヘルスケアの位置づけは全体として良好だと感じています。コア・コンピテンシーになると考えます。OECについての最も良い点は、おそらく1000万ドルのキャンセルがあったということです。ほとんど何でもありません。フランチャイズは損なわれていません。

ニコル・バレント氏 - クレジット・スイス - アナリスト

以上です。ジェフ、大きな視点からの質問です。最近の、御社のブラックストーン、アメリカンスタンダード、タイコなどのような新しい価値の創出についてですが、ポートフォリオに関するオプションの再評価は必要になりませんか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ニコル、私は、誰かが私たちよりも上手に事業を行うことができるのなら、私たちはそれを売却しようという心構えでいます。保険、自動車、グローバルエクステンジではそれを行いました。プラスチックでは行っているところです。

しかし、現在のポートフォリオを見ると、ビジネスモデルの多様性には力強さがあり、経営陣にもベストプラクティスが共有されています。インフラストラクチャーについて考えると、グローバルリサーチセンターから世界市場へのアプローチまでを含む、インフラストラクチャーにおける私たちの全体的な個性が、弊社を動かしている原動力です。

1月の終わりに出張をしました。アルジェリアで、私たちは12億ドルを投資します。サウジアラビア、ドゥバイ、アブダビにおいては、50億ドルです。パキスタンでは10億ドルです。トルコでは10億ドルです。それが私たちの作り出す価値であり、私たちが他の者とは異なっているのです。私たちは、会社全体として、大きな強さを持っていると考えます。

ニコル・パレント氏 - クレジット・スイス - アナリスト

わかりました。ありがとうございました。

オペレーター

リーマン・ブラザーズのボブ・コーネル氏です。

ボブ・コーネル氏 - リーマン・ブラザーズ - アナリスト

ありがとう。いくつかの質問があります。最初に、ジェフかキースにお尋ねします。第2四半期において受注が15%増加することについてコメントをいただけますか？それは、長期的なサイクルの力強さですか、それともまあまあ注文フローに過ぎませんか？あなた方のお考えをいくつか具体的にしてくださいませんか。どのように説明されますか。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

第1四半期からの変化は、主要設備によってもたらされると考えています。主要設備は、20%の増加を予想しています。サービスも良好です。フローは、ゼロから5%の変化だと考えますが、おそらく現在の状況と同様です。その結果を見定めなければなりません。

ボブ、大きな変化とは、いくつかの大きな設備注文が継続しており、ジョンライスの事業において素晴らしい成長が見込まれるということです。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

4月の最初の数週間において、いくつかの大型注文がありましたよ、ボブ。

ボブ・コーネル氏 - リーマン・ブラザーズ - アナリスト

それは良いですね。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

主要設備です。

ボブ・コーネル氏 - リーマン・ブラザーズ - アナリスト

マークベガーと電話でつながっています。率直に言って、驚きました。5億ドルの税引き前の引き当てがありながら、まだ第2四半期において500万ドルの引き下げがあるということです。先の四半期で5億ドルの引き当てをしたにもかかわらず、第2四半期において引き下げがあると思う理由を教えてくださいませんか。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

わかりました、ボブ。ボブ、大部分は、事業のコスト構造からきているのです。資本市場は、第2四半期において困難さを増すと予測しています。事業の構造を停止しても、おそらく5000万ドルの三分の二は事業の運営とリソースによるもので、収益はほぼゼロです。市場の回復は考慮していません。

ボブ・コーネル氏 - リーマン・ブラザーズ - アナリスト

最後の質問です。2005年と2006年の、ローンの支払い不履行への反応について全て予測できているのでしょうか。どう思われますか？まだ遅延し続ける可能性のあるローン支払があるのではないですか？何か方法や、それを把握する道はありますか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

それについては、ご想像の通り、多くの時間を費やしました。ボブ、第4四半期から開始されています。投資家は、ローンを私たちにに対してより早く返還しています。2006年の初頭においては、返還までに9ヶ月ほどかかっていました。第4四半期に、これが加速しました。最初の三ヶ月において、返還がされています。

第2に、先ほども述べたように、将来における買い戻しの可能性のために、第1四半期の準備金として一部を戻しました。約1億5000万ドルの準備金があり、将来のローンの戻しに対応します。私たちは、うまく対応していると考えます。

ボブ・コーネル氏 - リーマン・ブラザーズ - アナリスト

前進することを確保するために行った監査基準の変更は何ですか？

マーク・ベガー - GE マネー・アメリカズ - 取締役社長兼CEO

数点あります。歴史的には、それらのローンが私たちのところに戻ってくるまで時間制限はありませんでした。10月に、時間制限を課し、180日以内に戻されなければならないことになりました。それがひとつの変化です。

第2に、実際に戻ってきたときに、買い戻しについて十分なレビューを行っていませんでした。今は、以前監査人であった人物と、非常に集中的なチームを結成し、ローンが実際に戻ってくるべきものかどうかを確認する作業を行っています。私たちの経済的な効率性にも役立っています。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

しかしボブ、長期的に、私たちのファイナンシャルサービス事業について見てこれたと思います。私たちは処理が得意です。レモンからレモネードを作ることに長けています。これがマークとそのチームが行っていることです。

オペレーター

シティグループのジェフ・スプレグ氏です。

ジェフ・スプレグ氏 - シティグループ - アナリスト

ありがとう。皆さん、おはようございます。ジェフ、またはジョンライスがここにいらっしゃるのですが、ジェフ、インフラストラクチャーについて最初の四半期のコメントをしました。受注に関して、価格と利益についてのコメントもされました。

できれば、これら全ての関連を明らかにしていただけないですか。最近の最高裁の判決に関して、米国では何が展開していると思いますが、欧州では、規制緩和があります。御社にとって良い影響を与える点がいくつもあると思います。中間期において、注文と収益に現れる影響としては、何を期待されていますか？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GEインフラストラクチャーCEO

ジェフ。キースとジェフと私が活動の大きさに関して述べたことに含まれると思います。最高裁の判断は、異なるエネルギー技術について人々が考えることを促すと思います。石炭ガス化、風力などの分野では、私たちは明らかに良い立場にあります。ソーラーも同様ですが、やや少なめです。核燃料についてはまだ時間がかかります。

率直に言って、良いニュースです。短期では、エネルギーにおける伝統的なガス事業の力強さは依然として非常に大きなものであるからです。輸送は、これに関しては触れませんでした。第1四半期において、今までよりも多くの機関車を出荷しました。去年と比べると40%の増加、注文は5%上昇です。輸送は、サウジアラビアのような国など、今まで私たちとの重貨物輸送に関する話に興味を持たなかった国が、レールに興味を持っています。

質問に対しては、非常に多くの答えがあります。15%から20%の成長を見込んでいます。第2四半期について述べたように、いくつかの四半期ではさらに高い成長が見込まれます。非常に力強いものです。

米国では、エネルギーに対する大きな関心があります。加速度的な成長を見込むことができます。チームは、価格の設定、生産性、インフレーションについてとても努力をしました。利益の拡大と、その継続を見込んでいます。

ジェフ・スプレグ氏 - シティグループ - アナリスト

価格の3.5%についてのコメントがありました。タービンかインフラストラクチャー全体か思い出せません。注文の価格設定について、何が起きているのかももう少し教えてください。

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GEインフラストラクチャーCEO

電力ジェネレーターに関する注文は増加し、価格は3.5%上昇したとコメントしました。多くの需要があることが分かります。供給能力はいくらかの分野で比較的タイトな状況です。そのいくつかは、明らかに風力です。次の12から18ヶ月において、価格設定の能力は継続すると見えています。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ジェフ、90年代後半を考えると、米国で唯一の製品でした。ガスタービンです。今では全製品を至るところで見ることができます。レール、石油、ガス、航空機エンジン、エネルギー。50年で、長期的に全てが同時に拡大しているのは初めてだと思います。

そのアドバンテージを活用するための良い位置にあります。収益の点でもです。しかし、サプライチェーンの点がより重要であり、これが私たちの力強さのひとつです。米国が再び回復すると、ガスタービンと風力の点から見て、それは最高になります。価格と、サプライチェーンの両方において、良い影響が出ることとなります。

ジェフ・スプレグ氏 - シティグループ - アナリスト

米国において、さらに多くのガスタービン事業を期待できると思いますか。IGCCと核燃料への橋渡しとして、5年から10年の期間においてですか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

もちろんです。

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GEインフラストラクチャーCEO

それはもちろんです。それを、航空部門の需要の急増から見て取れます。それは、常にガスタービン事業における成長の前兆となっています。過去にもこれを経験し、再び経験しようとしています。

ジェフが最初に指摘したように、良いニュースとしては、率直に言って、より幅広く、深いものだと思います。また米国のバブルが到来するとは期待していません。これは良いことです。なぜなら、さらなる幅広さと深さを予期しているからです。

ジェフ・スプレグ氏 - シティグループ - アナリスト

もう一つの追加質問です。長い質問になりました。税率についてです。キース、率直に質問です。1年においては16%から17%としてありますが、確定されたうちのいくつかは適用されないものという前提ですか？確定された場合、それをどのように考えますか？確定された場合は、EPSの上昇ですか、それとも追加的なニストラクチャリングにつながりますか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

いいえ、私が述べたことを明確にします。確定は、インダストリアルまたはRECS率に対して、四半期においてより大きなボラティリティを生じさせます。年度全体の連結による率は、16%から17%という見通しが立てられています。私の知る限りで、また予測する限りにおいてです。まだ明確にすることはできませんが、それがガイドラインとしてお伝えしたいことです。

ジェフ・スプレグ氏 - シティグループ - アナリスト

わかりました。ありがとうございました。

オペレーター

ゴールドマン・サックスのディーン・ドレー氏です。

ディーン・ドレー氏 - ゴールドマン・サックス - アナリスト

おはようございます。いくつかの追加質問です。最初にマーク、第1四半期において行った証券化ですが、タイミングがやや標準とは異なっていましたね。年度の終わりには、より多くの証券化が行われています。WMCの損失の埋め合わせのための意識的な決定ですか？年度のバランスとして、証券化の見通しはどのようなものですか？

マーク・ベガー - GE マネー-アメリカズ- 取締役社長兼CEO

ディーン、意識的な決定でした。WMCの問題のいくつかの部分に補うための証券化を加速させたのです。年度の残りの部分では、標準的なプロセス外のものはないと思います。

ディーン・ドレー氏 - ゴールドマン・サックス - アナリスト

証券化に対して、価格には変化がありますか？

マーク・ベガー - GE マネー-アメリカズ- 取締役社長兼CEO

いいえ。実際、第1四半期において行ったことに対しては、非常に強い需要がありました。しかし、価格には変化がありません。

ディーン・ドレー氏 - ゴールドマン・サックス - アナリスト

分かりました。OECと、同意判決について移ります。私が聞き逃したこともあるかも知れません。出荷を再開する時期についてコメントをされましたか？第2四半期ですか、それとも下期ですか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

これについては、予測が難しいと言えます。やるべきことの全てに対しては、努力を重ねています。第2四半期になると思います。

ディーン・ドレー氏 - ゴールドマン・サックス - アナリスト

わかりました。受注のキャンセルが増加することがなく、良かったと思います。OEC事業の他について承認を受ける上で、FDAとの間で何か問題はありますか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

そうだろうとは思いますが、いいえ、私たちは、FDAのレビューを私たちの施設において常に受けておりますし、いつも見事に成功しております。これは特殊なケースであり、そのように取り扱っています。

ディーン・ドレー氏 - ゴールドマン・サックス - アナリスト

分かりました。最後の質問です。組織の成長率に関する予測について、大きな視点からです。世界のGDPの2倍から3倍のファアウェイの真ん中に向けてボールを打ち続けています。インダストリアルとGEキャピタルは、この四半期で、それぞれどのような組織的成長をとげましたか？新興市場からの貢献度はどのようなものでしたか？組織的成長の年度におけるバランスについてどのようにお考えですか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ディーン、インダストリアルファイナンシャルがより高いものでした。ファイナンシャルは、第1四半期において10%から12%でした。インダストリアルは、5%でした。インダストリアルは、年度の残りにおいてより強くなり、ファイナンシャルサービスはおそらく一桁の高い伸びを示すと思います。10かそのあたりだと思います。

OEC、NBCUがスタートしますので、組織的成長もこれに答えるはずですが。ジョンは、インダストリアルセグメントにおいて重要な役割を担っています。ジョンは、しばらく10台半ばの成長を経験することと思います。以上が私たちの考えです。

米国外の事業は、米国内の事業に比べ、急速に成長すると思われれます。

ディーン・ドレー氏 - ゴールドマン・サックス - アナリスト

新興市場から、貢献があるでしょうか、想像上のブレイクスルーは？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

新興市場は上昇しています。今年の見通しは、四半期においては14%の成長でした。今年の見通しはおよそ320億ドルであり、10台半ばから後半の成長に向けて、300億ドルのプラスです。想像上のブレイクスルーは、150億から200億ドルの間になります。第1四半期において、50億ドルとなりました。

ディーン・ドレー氏 - ゴールドマン・サックス - アナリスト

どうもありがとうございました。

オペレーター

JPモルガンのスティーブ・トゥサ氏です。

スティーブ・トゥサ - JPモルガン - アナリスト

おはようございます。リストラクチャリングについての報告をありがとうございます。とても助かりました。一般の会社が行う以上のことであり、継続的なものでした。感謝します。年次ガイダンスについて1つ質問です。ヘルスケアは、やや軽めと予想されるそうですね。数値を再確認した上で、それに対する対応はどこにおいてされるのですか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ジョンライスが隣に座っています。ジョンが、力強く実施し、継続的に成果をもたらす能力を持っています。

しかし、スティープ、繰り返します。アボットに関して、いつ取引が完了するか分かりません。ヘルスケアは、営業利益Vが15%になる合理的なチャンスがあると思います。

ガイドラインでは、第1四半期について、おそらくあまりにも楽観的すぎたかもしれません。これについては私が個人的に責任を負います。OECは、営業利益の見地からすると、四半期において5000万ドルのコストがおそらくかかります。上昇することになれば、多くのお金を生み出すでしょう。

スティープ・トゥサ - JPモルガン - アナリスト

そうです。第2四半期においては、どうもはっきりしません。誰もが、毎四半期における増加と減少について関心を寄せます。第2四半期においては、税の優遇を考慮に入れていますか？あるいは、EPSの数値はどのように算出しましたか？第2四半期において、どのような税率を前提としていますか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

いいえ。IRSと、税率の確定について話し合っています。これがいつ生じるかのタイミングについては、まだ不明です。私が述べたのは、これが生じると、いくからのボラティリティが発生するという事です。年度において、16から17%の連結の率を考えています。

スティープ・トゥサ - JPモルガン - アナリスト

第2四半期においてEPSの数値を考慮し、そのように考えるわけですね。最後に短い質問です。GEキャピタルの引き当ては上昇しました。明らかに、そのうちのいくらかはWMCです。40プラス%の上昇です。引き当ては、次からの四半期において、減少するとお考えですか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

私はそう思います。引き当ての増加は、WMCからの影響というわけではありません。これは、ローンが販売のために保持され、それが評価損を計上しているのです。

引き当ての増加は、いくつもの理由によります。第1に、米国の破産を思い出してください。消費者において、GEマネーの事業において、米国の破産法は2005年の末に改正されました。2005年の第4四半期に、破産の増加を加速しました。結果として、通常の事業の過程における倒産引き当ては、2006年の第1四半期では非常に低いものでした。第1四半期においては、より通常の倒産引き当てがあるものと考えます。およそ、この成長のなかでの1億7000万ドルでした。

商業ファイナンスにおけるタイミングがありました。去年は、第1四半期において回復がありましたが、それは継続しませんでした。商業ファイナンスでは、平均純資産の0.2%上昇しました。これはおそらくより通常のランレートの水準です。

破産の通常化が、要因となっていると思います。ポートフォリオにおける質の変化であるという見方とは異なります。

スティープ・トゥサ - JPモルガン - アナリスト

すると、約11億ドルが見込まれているのですか、それとも、次第に減少をしていくのですか？履行請求は大変ですか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

ランレートは、80%から100%の間になると思います。ANIEに対して100ベースポイントです。スティープ、それは資産の増加にもよると思います。

スティープ・トゥサ - JPモルガン - アナリスト

よくわかりました。どうもありがとうございました。

オペレーター

モーガン・スタンリーのスコット・デービス氏です。

スコット・デービス氏 - モーガン・スタンリー - アナリスト

おはようございます。ありがとうございます。マークが参加しているので、プライベートトラベルのクレジットカードについて、特に米国に関して、お話しいただけないですか？マーク、モーゲージサブプライムにおけるこの惨状は、クレジットカードにも波及すると思いますか？

マーク・ベガー - GE マネー・アメリカズ - 取締役社長兼CEO

スコット、ご想像の通り、目を光らせています。去年の秋、9月と10月から開始しています。集金担当者を増加させる段階にあります。これは、住宅価格の増加率の影響と、私たちの予測を考慮した上でのことです。この数ヶ月で、700人の集金担当者を追加しました。履行請求を早め、催促を行うためです。

最終結果としては、不履行率に大きな変化が見られません。まだ監視を続けます。既に述べたように、真っ正面から取り組もうとしています。安定しているといえます。

スコット・デービス氏 - モーガン・スタンリー - アナリスト

コメント、または質問です。歴史的には、GEキャピタルは、このような障害が発生したときには最後に頼りになる買い受け人となるのが得意であったと思います。どうも、事業から抜け出そうとしている、あるいは新規創出を鈍らせているのでは無いかと思います。歴史的に、このような時には、GEは一步踏み出し、不良債権を購入したりしてきたにもかかわらずです。

戦略に変更がありましたか？まだその時ではないのでしょうか？戦略について、お話しください。

マーク・ベガー - GE マネー・アメリカズ - 取締役社長兼CEO

そうですね、おそらく、まだその時ではないのでしょうか。今は手一杯であり、事業を適切な規模に修正することが先決です。あなたは正しいと思います。私たちはいつも機会をうかがっており、市場に近いところにいます。今起こっていることに目を光らせています。何かを発見したら、それを検討します。しかし、今、すべきことが多くあり、それは事業の規模を適正化することです。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

スコット、私たちは、商業ファイナンスチームに、マークのチームと協働するよう依頼しました。この市場において、どのような機会があるか分かりますか？大変な混乱が続いています。私たちはいつも適切なチャンスをうかがっています。

私たちは注意深い態度で臨みます。しかし、資金を投入するための適切な場所はここであると、市場を見て語る人もいます。

スコット・デービス氏 - モーガン・スタンリー - アナリスト

結構です。ジョンも参加していることですし、大きな見地からの質問をしたいと思います。しかし今では、GECAS、エネルギーファイナンシャルサービスを長期間管理しており、判断は可能と思います。これらの事業を有することは、コアビジネスの存続にとって何らかの実際の利益になっていると考えますか？別の言い方で言うと、それらを一緒に分析することは、私たちに与えられる困難に相当するだけの価値があるのでしょうか？それとも、何らかの目に見える利点があるのでしょうか？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GE インフラストラクチャー CEO

そうですね、目に見える利点は確実にあります。中東における注文を、第2四半期において計上します。これは水力の分野で排他的に交渉を行ってきたものであり、同時に、同じ取引でエネルギーファイナンシャルサービスとも協働することができるからです。

これは一例ですが、繰り返されていることです。ヘンリー・ハブシュマンと彼のチームが当事者にもたらす専門知識であるか、アレックス・アークハートと彼のチームがもたらす金融専門知識であるかにかかわらず。あらゆる場所で利点はあります。以前の手法に戻りたいとは絶対に思いません。

スコット・デービス氏 - モーガン・スタンリー - アナリスト

わかりました、結構です。ありがとうございます。

オペレーター

UBSのデイビッド・ブルースタイン氏です。

David Bleustein - UBS - Analyst

おはようございます。マーク、短い質問です。収益は、バランスシートに米国モーゲージを保持したいと思う程度のレベルに近づいていますか？

マーク・ベガー - GE マネー・アメリカズ - 取締役社長兼CEO

私たちが評価を行っている点の1つです。モーゲージを保持し、収益には証券化を用います。それは、私がモーゲージの収益や買い戻しと呼んでいるものを原動力としているものではありません。それは、資本市場の変動によって動いています。ウォールストリートへの、市場におけるローン販売の考え方は、うまくいきません。

米国外では、モーゲージ事業は非常に強い者です。イギリス、オーストラリアは、私たちのモデルであり、米国に持ち込んでいるところです。

David Bleustein - UBS - Analyst

結構です。ジョンに質問です。ジョン、IGCCテクノロジーへ至るための橋渡しであると、コメントされました。明らかに、工場がいくつか建設され、稼働していますが、IGCCの工場が米国で相当な数が建設されるまでにどのくらいかかるとお考えですか？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GE インフラストラクチャー CEO

デビッド、相当な数とはどの程度を指すかの定義によります。しかし、新技術を投入した最初の工場から、3、4年経過しております。おそらく、再び3年から5年は相当数に達するまでに必要なのではないのでしょうか。

この国や、コールに依存している国にとっては、重要な技術になるであろうことは、私にも、顧客にも疑いが無いと思います。コストが適切である必要があります。コストが適切でなければなりません。消費者は、支払う準備があり、公共事業としても投資の用意があります。これらが一緒になったとき、非常に重要な技術になります。

David Bleustein - UBS - Analyst

通常の複合サイクルプラントと比較して、建設コストと操業コストはどのくらい高くなりますか？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GEインフラストラクチャーCEO

それは、資本コストにつながっています。現在、20%から25%という高めの水準です。それを半分にカットする必要性を感じていますし、今後そうする予定です。工場第1号においては半分にカットできませんが、第5号、第6号においてはそうすべきです。グラインドスローブ設備を考えています。顧客の考えていることとも合致すると思います。

David Bleustein - UBS - Analyst

スチームタービンへと話を移しますが、スチームタービンのインドとその他のアジア地域におけるイニシアティブをお話いただけますか？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GEインフラストラクチャーCEO

興味深いことです。現在、スチームの数量はまあまあの数量ですが、それは複合サイクルガスタービンと結びついているからです。シェネクタディーの工場を数週間前に歩いていましたが、フロアに置かれていた75%の物品は、米国外へ向けたものであり、複合サイクルガスタービン向けでした。

インド、中東、中国において、純粋なスチームについて興味を引くことによって、まだ市場を発掘していますが、複合サイクルガスタービンとの関係において獲得しているスチーム事業の数量には、現在満足しています。

David Bleustein - UBS - Analyst

素晴らしいですね。どうもありがとうございました。キース、あとひとつだけ。第3四半期と第4四半期とにおける税率に戻りますが、16%と17%が第2四半期のガイダンスのために作成した数字ですか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

連結ベースでは、そうです。

David Bleustein - UBS - Analyst

どうもありがとうございました。

オペレーター

ベア・スターンズのアン・ディグナンさんです。

アン・ディグナン - ベア・スターンズ - アナリスト

ベア・スターンズのアン・ディグナンです。おはようございます。確認のためにいくつか質問です。8%の組織的成長は、為替の変動を考慮せずに算出されています。収益または利益には、この四半期、為替はどのように影響を与えましたか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

為替は、収益に対して1.5ポイントであり、重大なものではありませんでした。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

あるいは、利益に対してもです。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

利益に対してもです。そうです。失礼。

アン・ディグナン - ベア・スターズ - アナリスト

わかりました。ありがとうございました。御社のプレスリリースでは、資産売却による利益を主にリストラクチャリングに使用すると記載してあります。言葉遣いが若干変わっています。処分による利益をどのように使用されるのですか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

それは、会計上の文句だと思います。例えば、アスベストの訴訟のようなものは技術的にリストラクチャリングとはいえません。ですから、アン、私たちは利益を会社を強化するために使いますよ。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

(複数の発言者) IP
R&Dのような事項がありますよ、アン。それは、細かい点になってくると思います。しかし、基本的に、利益は無くなってしまふことはないと言いたいです。

アン・ディグナン - ベア・スターズ - アナリスト

分かりました。すると、--に変更はないのですね？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

ありません。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ゼロです。

アン・ディグナン - ベア・スターズ - アナリスト

わかりました。ありがとうございました。インフレーションについて最後の質問です。航空部門で、いくらかのインフレーションがあると指摘されています。複数の事業にわたり、一般的にインフレーションについてお話しいただけますか？第1四半期において、ポジティブであるかネガティブであるかを問わず、何らかの予期せぬ出来事はありましたか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

インフレーションを経験しております。主に、貴金属、その他の金属商品群においてです。会社に対する全体的なアプローチは、比較的制限されたものでした。価格設定の活動によって、ポートフォリオの全体にわたり、インフレーションを相殺する以上の成果をあげました。

貴金属において、いくつかのインフレーションが生じています。長期的な契約と、サプライヤーとの協同的な投資に対して、できることを全て行いました。インフレーションの影響を最小限にとどめるためです。コマーシャルチームと必死に対応を行い、市場において回復を達成できるようにしました。ポートフォリオを検討すると、この四半期においてはそれが達成できています。

一方、四半期における価格設定を見ると、インフレーションを考慮した上で、航空分野は2.5%の価格上昇、エネルギーは2%、輸送の価格設定は1%、石油・ガスの価格設定は2%の上昇でした。市場において回復させるための努力を怠りません。ジョンとジェフが述べたように、私たちが経験しているサプライ需要の平均化を考慮しても、アン、非常に効果的なものでした。

アン・ディグナン - ベア・スターンズ - アナリスト

最後の質問です。例えば、風力など、良く文書化されていますが、今後、部品供給の抑制の兆しはありますか？これら回転が遅れがちな事業のいくつかを増加させる場合、供給制限についての不安はないですか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

ある意味、私たちはそれらについて不安を感じるために雇われています。しかし、事業に対する影響はまだありません。私たちのサプライチェーンは、非常によい仕事をしています。米国の電力バブルから学んだことの1つは、そうした状況をどう管理するかです。

航空チームであれ、輸送チームであれ、エネルギーチームであれ、非常に素晴らしい仕事をしました。顧客に対して供給する能力に対する影響は感じておりません。

アン・ディグナン - ベア・スターンズ - アナリスト

分かりました。ピーターが、ファイナンシャルサービスについて補足質問をします。

ピーター・ネスヴォルド氏 - ベア・スターンズ - アナリスト

マーク、短い質問を1つだけ。伝統的な見方は、モーゲージにおけるサブプライムの逆風の多くは、Alt-A市場に拡大しないというものです。なぜ、市場の確信の度合いはこのレベルなのでしょう。ARMであろうとなかろうと、文書化の率が低かろうと、価値に対するローンが高かろうと、ローンの特性の多くが共有されているというのに、なぜなのでしょう。

マーク・ベガー - GE マネー・アメリカズ - 取締役社長兼CEO

実際、その標準的な見方には同意できません。Alt-Aに対する圧力がないというのは、私たちは現にそれを経験しているため、賛同はできません。

ピーター・ネスヴォルド氏 - ベア・スターンズ - アナリスト

不履行率をどう性格づけられますか。サブプライムにおける60日以上不履行とAlt-Aにおける現在の状況とを比較した場合です。

マーク・ベガー - GE マネー・アメリカズ - 取締役社長兼CEO

サブプライムは、おそらく不履行率からすると50%高率になります。しかし、いくつかのAlt-Aの消費者は、圧力下にあることが明らかに見て取れます。

ピーター・ネスヴォルド氏 - ベア・スターンズ - アナリスト

以上です。最後の補足質問ですが、Alt-Aにも、サブプライムにおける同様の問題が波及すると思いますか？サブプライムが主導的ですか？あるいは、問題は両者同時に発生しているのでしょうか？

マーク・ベガー - GE マネー・アメリカズ- 取締役社長兼CEO

いいえ、サブプライムが主導的となっています。サブプライムの不履行率が去年の夏に上昇し、Alt-Aにおいてはその秋に始まりました。

ピーター・ネスヴォルド氏 - ベア・スターンズ- アナリスト

どうもありがとうございました。

オペレーター

バンク・オブ・アメリカ・セキュリティーズのロバート・マッカーシー氏です。

ロバート・マッカーシー - バンク・オブ・アメリカ・セキュリティーズ- アナリスト

皆さん、おはようございます。一桁台の低率な資本支出についてお話いただけますか。皆これを、米国における幅広い産業の経済の文脈において考慮しています。今後、どのようなトレンドを予測していますか？減少、減速を見込んでいますか？急速な回復を期待していますか？予測について教えてください。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

ロボ、米国の短期的な事業においては、悪化しているとは思いません。ワイルドカードは、住宅です、また、私たちは住宅をその全体において把握していません。設備機器のトレンドは、完了を見込んでいます。

第2四半期において、大きな回復を見込んでいるわけではありません。経済は、現在のレベルにとどまると考えています。

ロバート・マッカーシー - バンク・オブ・アメリカ・セキュリティーズ- アナリスト

わかりました。では、照明が四半期で10%の伸びを示しました。これは、米国の商業建築の力強さを示しているのでしょうか？これは世界的な力強さなののでしょうか？何を示しているのでしょうか。全体の事業の組織的成長に比べて、約二倍の伸びを見せています。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

私がCEOであったとき、コールにおいて、照明について話したことがあったかどうか思い出せません。ありがとう、ロボ。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

小売においては、照明は非常に素晴らしいパフォーマンスでした。全ての小売チャネルにおいてです。よくご存じだと思います。本国、世界において、コンパクトな蛍光灯を原動力としました。白熱灯も非常に良好でした。

ウォルマート、ホームデポット、ロウズなど、小売が非常に好ましいものでした。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ロブ、キースの言ったように、会社にとってはエコマジンネーションが需要を高めてくれました。CFLのようなものでも、照明ビジネスについて今まで私たちが考えていた見方からは大きく異なったものでした。

ロバート・マッカーシー - バンク・オブ・アメリカ・セキュリティーズ- アナリスト

わかりました、結構です。明らかに、他の方法によるエネルギー生成、高い可視性、良好な見通しが待ち受けているようですね。家庭の放送、配信についても、いくらかのリスクがあると思います。巨大な数ではありませんが、いくらかについてです。

それらの市場はいかがですか？いくつかの大きな取得が報告されていることからすると、今年ではないでしょうが、その領域がおそくなるのでしょうか。今後、放送と配信については、投資がされ、拡大していく領域になるのでしょうか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼CFO

率直に言うと、ロブ、私たちの事業規模が気に入っています。ご承知のように、最も巨大なプレイヤーではありません。しかし、私たちは手堅い利益の上がるセグメントにいます。巨大な拡大は予定しておりません。

事業を担当しているチームは良い仕事をしています。私たちは良好なコスト基盤を持ち、改善するために努力しています。現在の状況が気に入っています。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ロブ、インダストリアル取引は、基本的に繰り返し生じる収益と、サービスフランチャイズを有しています。T&Dは、大きなサービスフランチャイズを有しているわけではありません。

ロバート・マッカーシー - バンク・オブ・アメリカ・セキュリティーズ- アナリスト

変化を予期はしていないのですね。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

そうですね。

ロバート・マッカーシー - バンク・オブ・アメリカ・セキュリティーズ- アナリスト

結構です。お時間を割いていただきありがとうございました。

ダン・ジャンキ - GE - インバスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

キャロル、最後の質問をお願いします。

オペレーター

もちろんです。AGエドワーズのクリス・コトウィッツ氏です。

クリス・コトウィッツ - AG・エドワーズ- アナリスト

皆様、おはようございます。電力供給について、スチームタービン販売の力強さを話してくださいました。それは、国際的な面からでしょうか？それは、パワーアイランドの販売が原動力となったのでしょうか、あるいは単体でのユニットによるものでしょうか？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GE インフラストラクチャー CEO

いいえ、それは、私が複合サイクルガスタービンといったとき、それがおそらくあなたのパワーアイランドの定義なのでしょう。それらは単体（スタンドアローン）ではありません。

クリス・コトウィッツ - AG・エドワーズ - アナリスト

スチームタービンについて話しています。

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GE インフラストラクチャー CEO

はい、ガスタービン2基に伴う1基のスチームタービンがあります。スタンドアローンのスチームタービン事業は、それほど多いわけではありません。特に、インドや中国などの国ではなおさらです。

クリス・コトウィッツ - AG・エドワーズ - アナリスト

わかりました。サプライチェーンについて、広い見地から、御社の制限にはならないとおっしゃいました。補助設備についても、それは事実ですか？特に、エネルギー部門や、電力生成部門ではどうですか？御社が実際に彼らの製品を製造しているわけではないが、パワーアイランドにおいて必要となる者たちについてはどうですか？何か不安はありますか？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GE インフラストラクチャー CEO

私たちが直接のサプライヤーと関わると同じように、彼らとは協働を行っています。プラント建設プロジェクトに関わる時、私たちは同様に彼らを管理します。

私たちは常に、現状に満足はしたくないため、配慮をしていきたいと考えています。しかし、これらのプロジェクトを完了させるための私たちや顧客の能力が制限される要素は、感じておりません。

クリス・コトウィッツ - AG・エドワーズ - アナリスト

わかりました。コール部門です。大きな勢い（モメンタム）がありました。ニュースや知人との話によると、実際には、コールのモメンタムは弱まっているように聞こえます。その見方について、何かのコメントがありますか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

世界はコールが必要です。そのため、環境基準とコールの需要との間で、ある時点において合流点が見つかるはずだと考えています。ジョンと彼のチームがコールのガス化と周辺技術に投資をした理由はそこにあります。ジョン、どのように考えますか？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GE インフラストラクチャー CEO

全く同意します。コールは、米国と他の国々におけるアクションの重要部分であり、IGCCは重要な技術になります。短期的には、新規のコールプラントが必要です。

クリス・コトウィッツ - AG・エドワーズ - アナリスト

4年から10年の初期のIGCCプラントを増設する場合、加速度の要因となるものはありますか。政府からの補助金の可能性はありますか？例えば、風力で獲得してきたような？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GE インフラストラクチャー CEO

はい。生産税の減税のようなものは、疑いなく効果があり、一助になります。しかし、これらは巨大な、洗練された化学施設であり、建設するのにどのような状況でも3年以上はかかるものです。そのため、加速させることがそれほどに可能なわけではありませ

クリス・コトウィッツ - AG・エドワーズ- アナリスト

それを完了させる必要があるということですか？

ジョン・ライス - GE - 副会長兼取締役社長、GE インフラストラクチャー CEO

私たちは、全ての選択肢を検討しており、顧客とその要求に基づいています。

クリス・コトウィッツ - AG・エドワーズ- アナリスト

わかりました。

ダン・ジャンキ - GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

それでは、参加して下さった皆さんにありがとうを言いたいと思います。そしてジョアナと私は一日中ご質問を受け付けております。リプレイと議事録は、ウェブサイトから入手可能です。どうもありがとう。

オペレーター

皆様、これをもちまして本日のコンファレンス・コールを終了いたします。本日はご参加ありがとうございました。これにて、接続を切っても大丈夫です。

免責条項

Thomson Financial は、いかなる人物に事前に通知を行うことなく、このウェブサイトに掲載されている文書、内容、またはいかなる情報を変更する権利を留保します。

イベント議事録が作成されたコンファレンス・コールにおいては、企業はいかなる項目に関しても企画または事業見解声明を作成することができます。事業見解声明は、予期される状況およびリスクを伴う可能性および予期せぬ状況に基づきます。実際の業績は、さまざまな重要な要因およびリスクに基づいて作成される業績見通し声明のそれとは実質的に異なる場合があります。実際の業績は当事企業の最新の証券委員会への申告書により具体的に明記されています。事業見解声明は当事企業の独自の判断に基づいたものであり、不正確あるいは不適切である場合があります。したがって、事業見解声明の予想業績の正確性を保証するものではありません。

イベント議事録に記載されている情報は、コンファレンス・コールにおいて当事企業から得たものを原文のまま記録したものです。正確なトランスクリプトを提供するよう心がけておりますが、コンファレンス・コールの内容において実質的な不手際が生じる場合のあることをご了承ください。THOMSON

FINANCIALまたは当該企業は、このウェブサイトまたはいかなるイベント議事録に掲載されている情報に基づいたいかなる投資または決定に対して一切の責任を負いません。ユーザーの方は、いかなる投資および決定をする前に当事企業のコンファレンス・コールおよび証券取引委員会への申告書を精査されることをお勧めします。

© 2005, Thomson StreetEvents All Rights Reserved.